学校番号	１０１５

平成 31 年度　公民科

教科	公民科	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『高校政治・経済新訂版』（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

広い視野に立って、民主主義の理解を深める。現代における政治、経済、国際関係などについて学ぶ。正しい判断力を持ち、公民として必要な力と態度を身に付ける。

2　学習の到達目標

・民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。
・政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察する。
・公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代の政治，経済，国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	・現代の政治，経済，国際関係に関わる事柄から課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的･多角的に考察し，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	・現代の政治，経済，国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	・現代の政治，経済，国際関係に関する基本的な事柄や，本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・討論・発表	・学習状況の観察 ・定期テスト （論述問題など） ・レポート課題 ・討論・発表	・学習状況の観察 ・定期テスト （資料の読み取り） ・レポート課題	・学習状況の観察 ・定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	現代の政治	1. 民主政治の基本原理	○			○	a: 民主主義の歴史や基本的原理に関して、世界史学習と関連づけながら深い興味を抱き、現代政治との関連性を追究している。日本国憲法の成立過程や国民主権、基本的人権の尊重、平和主義といった日本国憲法の基本原則に対して興味や関心を抱いている。 b: 西洋で発達した民主主義の原理と、日本の政治制度の仕組みとの関連を考察している。現在の日本の政治状況やファシズムの独裁政治から、民主主義の価値を判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 日本国憲法の成立や人権保障、平和主義に関する情報を、様々な手段を使い収集している。人権問題や平和主義に関して収集した資料を、自ら設定した課題解決のために主体的に選択し、活用している。 d: 政治や法、民主主義や人権保障の歴史といった民主政治の基本原理についての知識を有している。世論と政治の関係を正しく理解し、望ましい参政の在り方を考察している。	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		2. 日本国憲法の基本的性格	○	○	○	○		
前期期末		3. 日本の政治機構	○			○		
		4. 現代日本の政治	○			○		
		5. 現代の国際政治	○			○		
後期中間	現代の経済	1. 経済社会の変容	○			○	a:経済に対する興味を前提に、資本主義経済の特徴や歴史について意欲的に追究している。現在の日本経済の動向に対する関心が高まっている。 b:現代経済の特徴について、経済活動の国際比較を行うなど多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		2. 現代経済のしくみ	○			○		
		3. 現代経済と福祉の向上	○	○		○		

		4. 世界経済と日本		○	○		c: 現代の日本経済の動向に関する諸資料を、様々なメディアから収集している。収集した資料から市場機構や金融・財政などの学習に役立つ情報を主体的に選択し、活用している。 d: 資本主義経済の一般的特徴について、十分な知識を持っている。	
後期期末	現代社会の諸課題	1. 現代日本の政治や経済の諸課題	○	○		○	a:現代日本や国際社会の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、望ましい解決の在り方を客観的に考えようとしている。 b: 現代日本や国際社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、望ましい解決の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断している。また、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c:現代日本や国際社会の諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択し活用している。 d: 地域社会の変貌と住民生活、中小企業の新しい変化、農業、農村と食料、環境問題、雇用と労働をめぐる問題、これからの社会保障のあり方、地球環境の保全と経済成長、原子力と再生可能エネルギー、人種・民族問題、国際経済格差の是正と国際協力、現代日本や国際社会の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身につけている。	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		2. 国際社会の政治や経済の諸課題	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解